

1. 実況上の着目点

① オホーツク海を東北東進する発達した低気圧と大陸や黄海付近の高気圧との間で、日本付近は西高東低の気圧配置となっている。全国的に気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしけている所がある。北海道地方では非常に強い風が吹いている所がある。また、850hPaで-6℃以下の寒気が北海道地方に南下。北～東日本日本海側では1時間に5～15mmの降水を解析。北海道の山地では3時間に5cm前後の降雪を観測。

② 沖縄の南～小笠原諸島付近～日本の東にのびる前線に向かう下層暖湿気の影響で、沖縄の南で雷を検知、激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 29日にかけて、1項①の低気圧は、カムチャツカの東に進み、黄海付近の高気圧は、日本海に移動。日本付近は29日はじめにかけて西高東低の気圧配置が続く。
- ② 1項②の前線は、29日にかけて、日本のはるか東～小笠原諸島付近～沖縄の南にほとんど停滞。30日は、500hPa 5820m付近のトラフに対応して、前線上のキंकが小笠原近海を東北東進する。また、29～30日は、シアーラインが東海道沖に停滞する。これらの影響で、南西諸島では29日にかけて、小笠原諸島では30日にかけて、伊豆諸島では29～30日は、大気の状態が不安定となり、激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風に注意。
- ③ 2項①の気圧配置や2項①の高気圧と2項②の前線の間で気圧の傾きが大きくなり、北日本では29日にかけて、東日本～南西諸島では30日にかけて、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。強風や高波に注意。北海道地方では28日は、非常に強い風が吹く所がある。暴風に警戒。
- ④ 850hPaで-6℃以下の寒気が29日にかけて、北海道地方に南下。また、29日はじめにかけて500hPa 5400m付近で-33℃以下の寒気を伴うトラフが北日本を通過する。北海道の山地では大雪となる所がある。大雪や積雪による交通障害に注意・警戒し、着雪に注意。また、北日本と東日本日本海側では大気の状態が非常に不安定となる所がある。落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。北陸地方ではこれまでの雨の影響で地盤の緩んでいる所がある。土砂災害に注意・警戒。
- ⑤ 30日は、500hPa 5340m付近のトラフに対応した低気圧がアムール川中流域からオホーツク海に進み、寒冷前線が宗谷海峡付近にのびる。低気圧や前線の近傍では気圧の傾きが大きくなり、大気の状態が不安定となる所がある。北海道地方では、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、強風、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：北海道40、東北20cm。③ 波浪(明日まで)：北海道・東北・沖縄5、その他広い範囲で3～4m。④ 高潮(明日まで)：東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。